

2008 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;"><b>仏教学 B</b></p>	<p>対象学科・学年</p> <p>文学部全学科 1 回生 教育教福 1 回生 人間人社 1 回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;"><b>貫名 譲</b></p>
<p>授業テーマ</p> <p>『歎異抄』を読む</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>鎌倉時代は、人々の生活観・思想が大きく変化していきます。そのような時代に、新しい風をおこした者たちが登場します。法然・親鸞・一遍・栄西・道元・日蓮です。彼らは独自のスタイルを打ち出していきます。親鸞は、「悪人こそが救われる」と説きました。ところが誤解するものも多く現れます。そこで親鸞没後、弟子・唯円が教えの真意を正そうと筆を取りました。授業では、唯円によって著された『歎異抄』を読みながら、親鸞の思想に迫ってみたいと思います。</p>		
<p>評価方法</p> <p>レポート試験（50%）、出席状況・授業態度（50%）、総合評価で行います。</p>		
<p>テキスト</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>参考書</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① はじめに</li> <li>② 鎌倉新仏教の特徴</li> <li>③ 親鸞と唯円、『歎異抄』とは</li> <li>④ 第1条 念仏とは</li> <li>⑤ 第2条 よきひとのおほせ</li> <li>⑥ 第3条 善人よりも悪人の法が往生しやすい</li> <li>⑦ 第4条 助けることは難しい</li> <li>⑧ 第5条 供養の念仏ではない</li> <li>⑨ 第6条 弟子は一人もいない</li> <li>⑩ 第7条 念仏の道とは、念仏に生きるものとは</li> <li>⑪ 第8条 念仏は行ではない</li> <li>⑫ 第9条 歓喜と煩惱</li> <li>⑬ 第10条 はからいを離れる</li> <li>⑭ まとめ</li> <li>⑮ レポート試験</li> </ol>		